

琉球大学学術リポジトリ

A Study on Traditional Houses with Domical Vault Roofs in Herat, Afghanistan- Their Typology and Construction

メタデータ	言語: English 出版者: 琉球大学 公開日: 2019-05-22 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Khojesta, Kawish, コジエスタ, カウィッシュ メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44476

(様式第5-2号) 課程博士

平成 31 年 2 月 7 日

琉球大学大学院
理工学研究科長 殿

論文審査委員

主査 氏 名 安藤 徹哉

副査 氏 名 堤 純一郎

副査 氏 名 清水 肇



学位（博士）論文審査及び最終試験の終了報告書

学位（博士）の申請に対し、学位論文の審査及び最終試験を終了したので、下記のとおり報告します。

記

申請者	専攻名・総合知能工学 氏名Khojesta Kawish 学籍番号 [REDACTED]	
指導教員名	安藤 徹哉	
成績評価	学位論文 合格	最終試験 合格
論文題目	A Study on Traditional Houses with Domical Vault Roofs in Herat, Afghanistan-Their Typology and Construction -	
審査要旨（2000字以内） Khojestaさんは、A Study on Traditional Houses with Domical Vault Roofs in Herat, Afghanistan-Their Typology and Construction-と題して博士論文を完成させた。その一部は査読付き学術論文として、日本建築学会計画系論文集(Vol. 82 No. 740 2017) (Vol. 83 No. 753 2018)とICAH(2019・2)に発表している。 本論文は7章より構成される。第1章 Introductionで研究の背景を説明した上で、第2章 Literature Reviewで既存の研究を整理し、第3章 Reseach Methodsにおいて研究方法を示している。第4章 Distribution of Traditional Houses with Domical Vault Roofsでは、高解像度の衛星写真を用いてイラン東部からアフガニスタン西部にかけてのドーム状ヴォ		

審査要旨

ールト屋根伝統住居の分布範囲を示した上で、それがペルシャ文化圏の中の年間降水量400mm未満の乾燥地帯に位置していることを示している。第5章 Characteristics of Traditional Houses with Domical Vault Roofs in Herat City では、伝統的構法を熟知した大工に対する聞き取り結果からドーム状ヴォールト屋根の構法の類型を示すと共に、3件の伝統住居の実測および聞き取り調査により、その建築的特徴を明らかにしている。第6章 Historical Development of Bagh-E Dasht では、バグ・ダーシュ地区のDalanと呼ばれる覆い付き回廊と新旧住宅の分布より、同地区の歴史的形成過程を明らかにしている。第7章 Conclusion では、得られた研究成果をまとめるとともに、今後の研究課題を示している。

本研究成果は工学的に有用であり、提出された学位論文は博士の学位論文に相当するものと判断し学位論文の審査を合格とする。また、2019年2月7日(木)11時から正午にかけて行われた論文発表会における発表ならびに質疑応答において、申請者は専門分野および関連分野の十分な知識ならびに十分な研究能力を有していることが確認できたので最終試験を合格とする。